

Tap Hub API 利用規約及びサーティフィケーション申込書

1. APIの利用規約

1.1 Tap Hub APIについて

Tapが提供する外部公開が可能なAPIの総称で、OpenAPI Version 3に準拠したAPIです。API連携時にはredocで作成されたAPIガイドが提供され、Json形式のAPI定義がダウンロードできるようになっています。また、yaml形式での提供も可能です。APIの公開にはNDA契約の締結、使用にあたっては契約の締結が必要です。

本申込書は、Tap フロントシステムのAPIを指します。

1.2 Tap Hub APIのカテゴリ

現在、以下の3つのカテゴリのAPIが提供されています。

1) 予約API

予約に関連する各種APIを提供します。

一部、滞在情報に関するAPIも提供します。

2) 顧客API

Tap PMSに登録された顧客情報、顧客実績情報に関する各種APIを提供します。

3) チェックインAPI

Tap PMSに登録された顧客情報、顧客実績情報に関する各種APIを提供します。

4) 他社製POS連携API

他社製のPOSシステムがTap PMSと連携するための各種APIを提供します。

1.3 Tap Hub APIのバージョニング

バージョン番号は、「I.m.n」3つの番号から構成されます。

I. APIの下位互換性が保証できない変更

m. APIの下位互換性がありますが、データモデル、パラメータの変更が行われています。APIクライアントの再生成・再コンパイルが必須です

n. APIの下位互換性を保証します

新エンドポイントの追加、データモデルへの構成要素追加、実装の変更です。

なお、I. m. レベルのバージョンが変更となるリリースが行われた後も、新バージョンリリース後**6ヶ月間**は旧バージョンのAPIが提供されます。

1.4 Tap Hub APIの接続方法

以下の2種類が提供されています。同じAPIでどちらの接続方法でも接続が可能です。

1) ホテル施設内ローカルエリアネットワークでの接続

Tap フロントシステムに直接接続を行います。

2) インターネットからの接続

クラウドシステムとの連携など、インターネットからホテル施設内のTap フロントシステムに接続を行います。

1.5 Tap Hub APIを用いたアプリケーションの開発

Tap Hub APIを使用したアプリケーションの開発とリリースにあたり、契約締結後、以下の手順で正式なTap Hub API準拠アプリケーションとして認定いたします。

1) 開発サポート

開発期間中はタップから以下の環境・サポートを提供いたします。

① タップPMSとAPIサーバー

インターネット環境からAPIアクセスが可能なサーバーを提供します。

24時間 365日稼働し、常に最新版のタップPMSとAPIサーバーに更新されます。

② フロント端末起動用のクライアント環境

Amazon Workspaceクライアントから接続可能な環境を提供します。

1アカウントのアカウントID、ユーザー、パスワードを提供します。

24時間 365日稼働しています。

③ e-learningアカウント

タップPMSシステムの機能・使用方法を理解して頂くため、e-learningシステムのアカウントを提供します。最大3アカウントまで提供可能です。

24時間 365日使用可能です。

④ Slack問合せ

専用のSlackチャンネルを開設し、開発に伴うQ&A対応を行います。

アカウント数は最大5アカウントとします。

1.6 Tap Hub API サーティフィケーション

Tap Hub APIを使用したアプリケーションを製品としてリリースするには、サーティフィケーション手続きの実施が必要です。また、リリース後はサーティフィケーション範囲内の使用であることを確認するため、定期的な監査を実施致します。サーティフィケーションは以下の手順で実施します。

1) 事前準備

以下の情報をご提供ください。

① 使用するAPI

使用するエンドポイントのリストをご提示ください。

② サーティフィケーション対象システムの使用頻度

APIの利用制限はAWS API Gatewayのスロットリングに準拠したトークンパケットモデルで行います。以下をご提示ください。

- ・1分あたりのAPI平均呼出回数(全エンドポイントの総数)

- ・1分あたりのAPI最大呼出回数(全エンドポイントの総数)

参考: https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/apigateway/latest/developerguide/limits.html

③ 接続方法

④ テスト期間

テストを行う期間は5日間です。事前に実施期間の調整をお願いします。

2) サーティフィケーションの実施

テスト期間にアプリケーションを動作させ、使用する全APIの呼び出しを行ってください。以下が確認を行う項目で、**サーティフィケーション範囲**となります。

項目	内容	備考
1	API使用パターン	提示されたUser Story、APIエンドポイントと相違ないか確認します。
2	エラーレート	2xx以外のhttpレスポンス応答数・率を確認します。
3	レスポンスタイム	PMSの負荷になるようなAPIの使い方(範囲指定など)を確認します。使用方法の変更を依頼する場合があります。

テスト期間完了後、10営業日以内にサーティフィケーション結果の報告と、問題ない場合には正式なAPIキーをご提供します。

3) 追加のユーザーストーリー、APIカテゴリの使用について

事前に申込書を記載し、サーティフィケーションの手続きを行ってください。

4) 本稼働後の定期監視

Tap Hub APIを使用したアプリケーションの運用が開始された後、サーティフィケーションで行われた範囲内での使用かどうか定期的に監査を行います。内容はサーティフィケーションで確認した内容と同様です。

5) サーティフィケーションの再実施

追加のユーザーストーリー、もしくは定期監査によって**サーティフィケーション範囲**と異なる事が確認された場合、再度サーティフィケーションを実施する必要があります。この場合、再度サーティフィケーション費用及び追加ライセンス費用が発生します。

以上

2. サーティフィケーション申込に関する情報

以下に必要な情報を記載してください。

2.1. 会社および製品の概要

会社の概要

記入日	
会社名	
事業所の住所	
会社の Web サイト	
会社の種類/所有構造	
親会社 (もしあれば)	
子会社(もしあれば)	
事業年数	
主要産業種別	
従業員数	
対象地域	
今年度 年間売上見込み	
昨年度 年間売上	
担当者・役職	

担当者連絡先情報

主な連絡先の名前	
連絡先の役職	
連絡先の電話番号	
連絡先の電子メール	
連絡先の住所	
Slack対応可否	

ベンダーの製品ライン

製品名	ソフトウェアの種類 (例: PMS、POS、CRM)	説明	導入数

主要顧客

製品を使用している一般的な顧客(顧客業種別が望ましい)

顧客名	地域	備考

その他の情報

使用目的と理由

追加情報またはコメント

2.2. 御社製品・API連携の概要

製品概要

*Tap Hub API*を使用する対象となる各アプリケーションの名前と簡単な説明を記載してください。API連携がどのように活用されるか、またこれによりアプリケーションがどのように改善されるかについての説明を含めてください。さらに、API連携が動作するアプリケーションで、API連携の互換性のある最低限のバージョンを含めてください:

App名	説明	互換性のあるバージョン

ユーザーストーリー

API連携を行うアプリケーションのすべてのユーザーストーリーを例を参考に記載してください 例 :

App名	User Story (who 誰が)	User Story (what 何をするか)	User Story (Why どういう理由で)
例 無人 チェック インシス テム	例 ゲスト	例 電話番号を入力してチェック インを行う	例 ホテルにセルフチェックインす るため
使用するエンドポイント			
例 <code>/hotels/{hotel_id}/reservaons</code> <code>/hotels/{hotel_id}/reservaons/{reservaon_id}/rooms/{room_reservaon_id}/check-in</code>			

以下にアプリケーション毎、ユーザーストーリー毎に記載して下さい。 (必要に応じて記入欄を追加してください)

App名	User Story (who 誰が)	User Story (what 何をするか)	User Story (Why どういう理由で)
使用するエンドポイント			
	User Story (who 誰が)	User Story (what 何をするか)	User Story (Why どういう理由で)
使用するエンドポイント			

レポート

API連携によって提供されるデータを活用するすべてのレポートの説明を記載してください。

App名	レポート名	説明

情報の記録・保存

API連携では、個人情報に関わる情報が提供されます。これらの情報を永続的に保存するすべてのデータのリストを記載してください。

App名	データのタイプ	永続的に保存する理由

API連携で個人に関わる情報をアプリケーションがアクセス・永続的に保存する場合、情報の保全にはどの様な対策を取るのか、御社で取得されている認証や体制について記載してください。

データのタイプ	情報セキュリティ保全の対策内容